

江別市立学校に係る部活動の方針(案)に対する市民意見募集結果と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1) 意見募集期間 令和元年9月2日(月)から10月1日(火)まで
- (2) 方針(案)配置場所 本庁舎情報公開コーナー、情報図書館、各公民館、大森出張所、水道庁舎証明交付窓口、市民会館、鉄南地区証明交付窓口、総合社会福祉センター、豊幌地区センター、教育部学校教育課 計12か所
- (3) 提出いただいた意見
- 提出者数 : 2 人
- 意見数 : 2 件

2 江別市立学校に係る部活動の方針(案)に対する意見概要と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受け入れて案を修正するもの
B	案は修正しないが、今後の進め方等において積極的に参考とするもの
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	これまでも取り組んできているもの
E	案に取り入れなかったもの

(2) ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	先日文部科学省は、全国学力テストの正答率を発表しました。それによると、初めて中学3年生で実施された英語の正答率が低く、基礎的な文法の学力がそなわっていないことがわかります。語学は本当は使いながら学ぶというのが理想的です。学校の授業以外でたとえば部活動において英会話クラブのような集まりがあれば、英語にふれる機会が増えます。学校の先生以外の外部から部活動の顧問をむかい入れることも視野にいれるべきでしょう。市の教育行政のリーダーシップが試されます。	方針案の中で「1 適切な運営のための体制整備」の「(2) 指導・運営に係る体制の構築」において、教育委員会は各学校の規模、部活動の実施状況などを踏まえ、部活動指導員の配置希望の状況などを把握しながら、必要に応じて部活動指導員を任用し、学校に配置するよう努めることとしています。 今後、方針に沿った取組を進めていく中で、いただいたご意見も参考に、部活動の教育的意義を踏まえ、効果的に部活動指導が行われるよう努めてまいります。	C

<p>部活動の日数や時間数を数値で明確に示した事ありがたい事だと考える。</p> <p>しかし、我が子の部活（バスケットボール）は通年でほぼ毎週練習試合を行っている状況であり、「3 適切な休養日等の設定」の適用除外（特例）とされてしまうのではと疑念を持っている。当方の部活顧問からは、今年から基幹団体の方針（？）がかわり、試合数が増える可能性があるかもしれないと聞いている。今ですら部活の練習試合や大会が多すぎる状況であるにも関わらず、各大元の管理団体との調整はされずに、条例だけの制定では絵に描いた餅にならないか。「江別市の方針」とするだけでは実効力があるのか、本当に子供たちを守れるのか心配である。</p> <p>部活動顧問の個人の資質によって、子どもたちが非常に危うい状況にさらされていると感じることが多々あった。部活動（通常の授業も含むが）は、閉鎖空間であり、顧問が暴走した場合に誰がとめる事ができるのか。たとえ教師2名体制でも、押しの強い問題教師を若齢の教師がとめる事や意見を挟めない事例を、我が家は体験している。学校は人手不足で顧問を多く配置できないとのことだが、それであれば部活動の統合廃止も視野にいれるべきではないか。または近隣の中学と合併して運営してもよいのではないか。より多くの人員を配置して、独善に走らない部活動運営をしていただきたい。</p> <p>今回策定するのは、あくまでも「方針」であるが、従わない場合はどうなるのか？場合によっては強制休養の措置をとるなど厳しい条件をつけるべきだと思う。</p>	<p>方針案の中で、休養日や活動時間の設定については「3 適切な休養日等の設定」において、活動時間の上限を定めており、成長期にある生徒がバランスのとれた生活を送ることが出来るよう、原則と異なる休養日や活動時間の設定が常態化しないよう休養日や活動時間を設定することとしています。校長は国のガイドラインの基準を踏まえるとともに、本方針に則り、各部活動の休養日及び活動時間等を設定したうえで公表することとしており、そのうえで各部活動の活動内容を把握し、適宜、指導・是正を行う等、その運用を徹底することとしています。教育委員会は学校長に対し、適宜、支援及び指導・是正を行うことにより、部活動顧問だけでなく、学校全体で適切な管理が行われるよう努めてまいります。</p> <p>参加する大会等については「5 学校単位で参加する大会等の見直し」において、教育委員会は大会等の主催者や競技団体等に要請することとなっており、方針の実効性を高めるためには、関係団体との調整が重要であると考えています。</p> <p>部活動の指導体制については「1 適切な運営のための体制整備」において、校長は、生徒指導の視点に立った部活動運営に努めるとともに、部活動を顧問任せにせず、学校全体に開かれたものとするとしており、部活動の統廃合や合同チーム等の編成については「4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備」において、生徒と部活動顧問の負担が過度にならないように適正な数の部活動数を考慮した上で、既存の部活動の統廃合など、生徒や保護者の理解のもと行うこととしています。</p> <p>今後、方針に沿った取組を進めていく中で、いただいたご意見も参考にし、教育委員会と学校が保護者や地域の方々の理解を得ながら、生徒のバランスのとれた生活等に配慮し、合理的でかつ効率的・効果的に行われるよう努めてまいります。</p>	<p>C</p>
---	---	----------

※寄せられたご意見については、できるだけ正確に表すため、個人を特定できる箇所やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しています。